



令和4年度 第8号  
常磐野小学校 校長室だより  
令和5年1月13日発行 文責 清川 秀一



## 「3学期スタート」

皆様、明けましておめでとうございます。新年になり、3学期がスタートしました。私としては、残り3ヶ月となった令和4年度をしっかり締め括ろうと改めて思い、始業式の話をどのような話にしようか、いろいろ思案しました。

2学期の終業式の話では、2022年のニュースを取り上げて話をしました。サッカーW杯の日本代表の活躍は記憶に新しいところですので、そこから子どもたちのためになる話をしようと思い、日本代表がこの30年ほどの間で強くなったことについて話題にしました。様々な外国人指導者や世界のサッカーからたくさん学び、取り入れたことが今の活躍に繋がっているので、「受け入れ」、「取り入れる」ことによって成長したのですね、という内容の話をしました。子ども達の日常の中でも、成長に繋がる様々な言葉を友達や家族、先生から聞いているはずですが、なかなか自分に取り入れられていないように思うので、他者の言葉を大事にしてほしいと思います。



そして3学期の始業式では、他者からのアドバイスを継続していくことで、良い習慣を付けようという構成にしようと思い、何か良い話の導入はないかと冬休みにテレビを見ていると、昨年ヒットした曲でSEKAINO OWARI（セカイノオワリ）の「Habit」という曲が流れていました。その歌詞を聞いて、これは良いかもしれないと思い、その歌詞を取り上げることにしました。ダンスがとても面白くて有名ですが、あまり歌詞には注目していなかったのですけれど、良く聞いてみると、自己肯定感の低い若者へのメッセージと感じました。すぐに「自分はできない」とあきらめはいけない、それは「悪い習慣だよ」と伝えているように解釈できます。そこで、子ども達には、「bad habit」ではなく、「good habit」をつけよう、そして良い習慣が付けば「自分の夢を叶えることに繋がりますよ」と話しました。

例えばの話として、挨拶を自分からすることや、早く就寝するなどの生活習慣や、履き物を揃えるなどのマナーの習慣、自分の能力を上げる練習の習慣などを挙げました。コツコツと日々意識して、継続することで夢に近づくことができると子ども達に理解してもらえると嬉しいなと思っていたら、次の日の朝、門に立っていると、私より先に自分から挨拶してくれる児童の何と多いことか。始めは気がつかなかつたのですが、途中で昨日の自分の話を取り入れて、やってくれているんだとわかり、とても嬉しくなりました。これが習慣となればSEKAINO OWARIの効果に感謝したいと思います。



1月13日には延び延びになっていた、2年生の校外学習に行くことができました。水族館ではしっかり先生の話を聞いて、グループ活動ができていたので、素晴らしいかったです。こちらは Good Communicationでした。